

# Smart at reception(受付システム)

参考資料

以下、本参考資料の改訂履歴です。

Ver.	作成/更新日	改訂要旨
初版	2020.12.08	新規作成
V2.0	2021.02.18	Slackの説明追加
V3.0	2021.02.25	Teamsに通知をお知らせする設定を追加 Slack別オプション項目の記述修正
V4.0	2021.03.18	LINE WORKS Botの公開、ルームID の確認方法を追加
V5.0	2022.01.13	LINE WORKS Botの公開に関して記述を追加
V6.0	2022.02.03	LINE WORKS Botの公開に関して記述の変更
V7.0	2022.05.19	Google Chatの説明追加、文体調整
V8.0	2022.11.24	LINE WORKS API 2.0に関する記述を追加
V9.0	2023.5.10	SlackのWebHookURLの取得（新方式）方法の変更対応 オプション別設定項目の説明追加

## 改訂履歴

Ver.	作成/更新日	改訂要旨
V9.1	2023.06.23	Google Chatの説明を現状に合わせて修正
V10.0	2023.07.11	LINE WORKSのルームIDの確認を変更
V11.0	2024.01.10	Teamsに通知をお知らせする設定を現状に合わせて修正
V12.0	2024.01.16	ChatworkでマイチャットのルームID取得方法を追記
V13.0	2024.02.26	LINE WORKS API1.0の削除

# 目次

1. Slackの設定	
1-1. 設定・通知に必要な情報（オプション別）	6
1-2. トークンの取得	8
1-3. Webhook URLの取得	10
1-4. ユーザー名の取得	15
1-5. チャンネル名の取得	16
2. ChatWork連携	
2-1. Chatwork API トークンの取得	18
2-2. ルームIDの取得 (グループチャット)	19
2-3. ルームIDの取得 (マイチャット)	20
3. LINE WORKS	
3-1. Client IDとClient Secretの取得	22
3-2. Service Account IDと認証キーの取得	24
3-3. Botの取得	25
3-4. Botの公開	27
3-5. トークルームにBotを追加	29
3-6. アカウントID の取得	30
3-7. ルームID の確認	31
4. Teams連携	
4-1. チャンネルの設定	33
4-2. Webhook URLの取得	36
4-3. 通知を知らせる設定	38
4-4. 通知のイメージ	41
5. Google Chatの設定	
5-1. スペースの作成	43
5-2. Webhookの設定	44

# 1. Slackの設定

## 1-1. 【Slack】オプション別設定項目 1

Slackオプションの種類によって、通知の届き方、管理画面の設定項目が異なります。

### ○指定したユーザにダイレクトメッセージを送る

対応するオプション	必要なSlack連携用WebHookURL	管理画面で通知先を指定する場所
Slack(契約・会社)	旧方式で作成したもの	ユーザ管理画面
Slack(個人)	旧方式で作成したもの	プリファレンス
	新方式で作成したもの	プリファレンス (実際の投稿先はWebHookURL作成時に指定したもの)

### ○指定したチャンネルに通知する

対応するオプション	必要なSlack連携用WebHookURL	管理画面で通知先を指定する場所
Slack(部署)	旧方式で作成したもの	組織管理画面
Slack(個人)	旧方式で作成したもの	プリファレンス
	新方式で作成したもの	プリファレンス (実際の投稿先はWebHookURL作成時に指定したもの)

※Slack(個別チャンネル)オプションは、来訪予約メール送信時に個別のチャンネルが自動で作成されます  
次ページで設定項目の詳細について説明します。

## 1-1. 【Slack】 オプション別設定項目 2

管理画面の設定項目はSlackオプションの種類によって異なります。

オプションの種類	管理画面設定項目			
	Slack連携用WebHookURL	Slackのユーザ名	Slackチャンネル名	Slackトークン
Slack(契約・会社)	契約管理画面または会社管理画面 (どちらかでよい。両方設定されている場合は 契約管理優先)	ユーザ管理画面	—	—
Slack(部署)	契約管理画面または会社管理画面 (どちらかでよい。両方設定されている場合は 契約管理優先)	—	組織管理画面	—
Slack(個人)	プリファレンス画面	プリファレンス画面		—
Slack(個別チャンネル)	—	—	—	○

※WebHookURLの取得方法は、新方式、旧方式の2つあります。**Slack(個人)のみ**を使用する場合以外は、旧方式で取得してください

※ **Slack(個人)のみ**の場合は新旧どちらも使用できますが、新旧で通知先の優先度が異なります  
詳しくは、前のページを参照ください。

## 1-2. 【Slack】 トークンの取得1

①レセプションの管理画面の会社管理メニューから、Slackトークン更新を押す



「Slackトークン更新」を押すと、Slackのワークスペースのログイン画面が起動します。

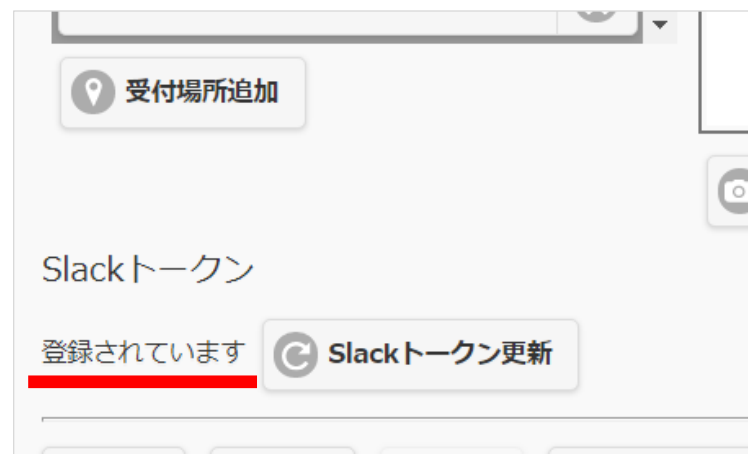
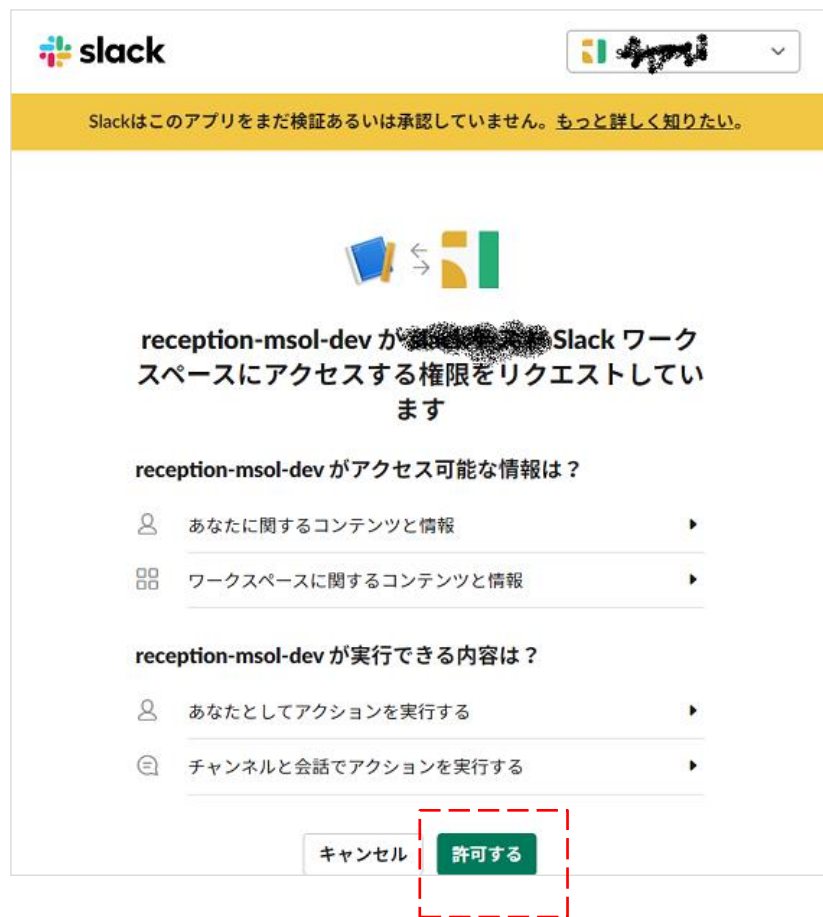
通知を送りたいワークスペースのURLを入力し、「続行する」を押します。

サインインします。



## 1-2. 【Slack】 トークンの取得2

②SlackのワークスペースにレセプションのSlackアプリのインストールを許可する



「許可する」を押すと、トークンの登録が行われ、レセプションの管理画面の会社管理メニューに戻ります。

# 1-3. 【Slack】 WebHookURLの取得（旧方式） 1

①以下のURLからWebhookアプリを開きます。

https://{workspace-name}.slack.com/apps

※サインインしていない場合は、サインイン後ワークスペースを選択します

②右上でワークスペースが選択されていることを確認し、「管理」をクリックします。

③左のメニューから「カスタムインテグレーション」をクリックし、「Incoming Webhook」をクリックします。

The screenshot shows the Slack app directory interface. On the left, there is a large banner with the text "アプリを追加して作業効率UP!" (Add apps to increase work efficiency!). Below the banner, there is a description: "レポートの出力やビデオ通話、チケットの提出など、様々な作業を Slack から直接行うことが可能です。" (You can perform various tasks such as report output, video calls, and ticket submission directly from Slack). A red arrow points from the banner area to the right-hand side of the interface.

On the right-hand side, the "管理" (Management) menu is visible, with "カスタムインテグレーション" (Custom Integrations) highlighted. Below the menu, the "カスタムインテグレーション" (Custom Integrations) section is shown, with a red dashed box highlighting the "設定済みカスタムインテグレーション" (Configured Custom Integrations) area. Inside this area, the "Incoming Webhook" integration is listed, with "7件の設定" (7 settings) indicated to its right.

# 1-3. 【Slack】 WebHookURLの取得（旧方式） 2

④ 「Slackに追加」をクリックします。

くアプリを検索する

## Incoming Webhook

説明 設定 セキュリティ & コンプライアンス

Incoming Webhooks are a simple way to post messages from external sources into Slack. They make use of normal HTTP requests with a JSON payload, which includes the message and a few other optional details described later.

Message Attachments can also be used in Incoming Webhooks to display richly-formatted messages that stand out from regular chat messages.

**Slackに追加**

アプリ管理者は承認の任意の段階でこのアプリを連携できます

⑤通知をしたいチャンネルを選択し、「Incoming Webhook インテグレーションの追加」をクリックすると、Webhook URLが作成されます。

**チャンネルを選択**

チャンネルへの投稿

まずIncoming Webhookがメッセージを投稿するチャンネルを選択します。

# kintoneアプリからの通知

または新しいチャンネルを作成する

**Incoming Webhook インテグレーションの追加**

Incoming Webhookを作成することで、Slack API サービス利用規約に同意したものとみなされます。

チャンネルの設定は、レセプション管理画面の設定が優先されます。

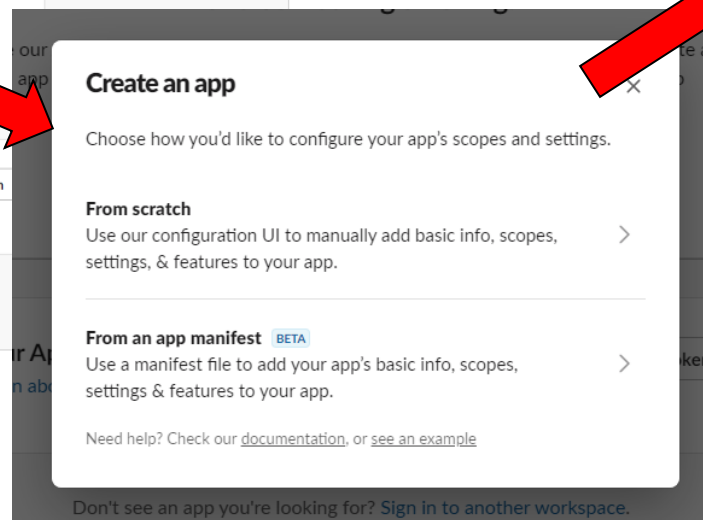
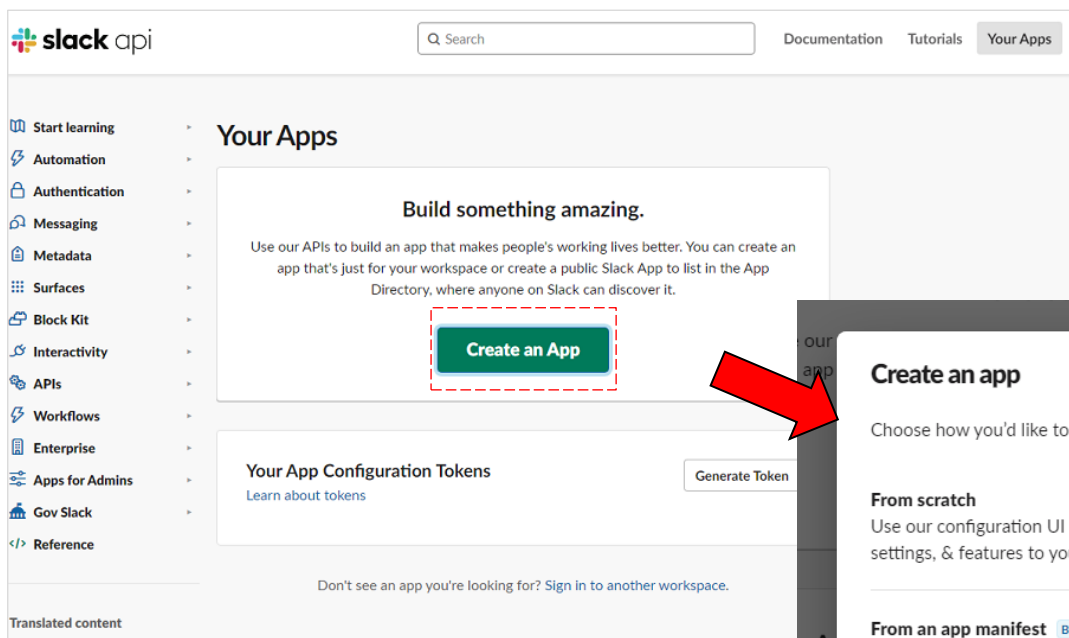
※部署ごと、個人ごとにチャンネルを変える場合はレセプション管理画面で正しく指定してください。

# 1-3. 【Slack】 WebHookURLの取得（新方式） 1

①通知を送るワークスペースに新しいアプリを作成します。

<https://api.slack.com/apps/>

上記のサイトからSlack Appを作成してください。



From scratchを選択します。

# 1-3. 【Slack】 WebHookURLの取得（新方式） 2

②左側メニューの「Features」から「Incoming Webhook」を選択し、アクティブにして、Webhookを追加します。

slack api

Settings

- Basic Information
- Collaborators
- Socket Mode
- Install App
- Manage Distribution

Features

- App Home
- Org Level Apps
- Incoming Webhooks**
- Interactivity & Shortcuts
- Slash Commands
- Workflow Steps
- OAuth & Permissions
- Event Subscriptions
- User ID Translation
- App Manifest NEW
- Beta Features

Submit to App Directory

- Review & Submit

Give feedback

Slack ♥

- Help
- Contact
- Policies

https://api.slack.com/ur...

### Activate Incoming Webhooks

Incoming webhooks are a simple way to post messages from external sources into Slack. They make use of normal HTTP requests with a JSON payload, which includes a message and a few other optional details. You can include `message` and `channel` to display richly-formatted messages.

Adding incoming webhooks requires a bot user. If you don't have one, you can add one for you.

Each time your app is installed, a new Webhook URL will be generated for you.

If you deactivate incoming webhooks, new Webhook URLs will not be generated. If your app is installed to your team, you will need to Revoke All OAuth Tokens.

### Webhook URLs for Your Workspace

To dispatch messages with your webhook URL, send your `message` in JSON as the body of an `application/json` POST request.

Add this webhook to your workspace below to activate this curl example.

Sample curl request to post to a channel:

```
curl -X POST -H 'Content-type: application/json' --data '{"text": "Hello, World!"}' YOUR_WEBHOOK_URL_HERE
```

Webhook URL

Channel

Created By

No webhooks have been added yet.

**Add New Webhook to Workspace**

ONにするとWebhookの登録欄が表示される

slack

このアプリは、このワークスペース「slackテスト」のメンバーにより作成されました。

Webhooktest1210 が slackテスト Slack スペースにアクセスする権限をリクエストします

Webhooktest1210 の投稿先はどちらにしますか？

- # Webhooktest1210 がアプリとして投稿することのできる投稿先チャンネルを指定する必要があります

チャンネルを検索...

キャンセル 許可する

投稿先チャンネル(チャンネル、ダイレクトメッセージの宛先)を指定する

許可する で作成

## 1-3. 【Slack】 WebHookURLの取得（新方式） 3

③チャンネルごとにWebhookを追加作成します。

Webhook URL	Channel	Added By
<a href="https://hooks.slack.com/services/...">https://hooks.slack.com/services/...</a> <input type="button" value="Copy"/>	[Redacted]	[Redacted] Dec 10, 2020 <input type="button" value="Delete"/>
<a href="https://hooks.slack.com/services/...">https://hooks.slack.com/services/...</a> <input type="button" value="Copy"/>	[Redacted]	[Redacted] Dec 10, 2020 <input type="button" value="Delete"/>
<input type="button" value="Add New Webhook to this space"/>		

WebHookURLが作成されるので、  
コピーして使用する

# 1-4. 【Slack】ユーザー名の取得

ユーザー名は、アカウント情報で確認するため、送信先本人へ確認が必要となります。

- ①デスクトップで、右上にある自分のプロフィール写真をクリックします。
  - ②「プロフィールを表示する」を選択し、プロフィールを開きます。
  - ③「その他」を選択します。
  - ④「アカウント設定」を選択すると、アカウント画面が開きます。
  - ⑤ユーザー名で「開く」を選択します。
  - ⑥ユーザー名を確認します。
- ※レセプション管理画面に設定の際は、ユーザー名の先頭に「@」を付けます

## Slackの画面

Slackの画面

①

②

③

④

⑤

⑥

## ブラウザ

ブラウザ

アカウント

設定 通知 プロフィール

パスワード

2要素認証

メールアドレス

タイムゾーン

表示言語

サインアウト

ユーザー名

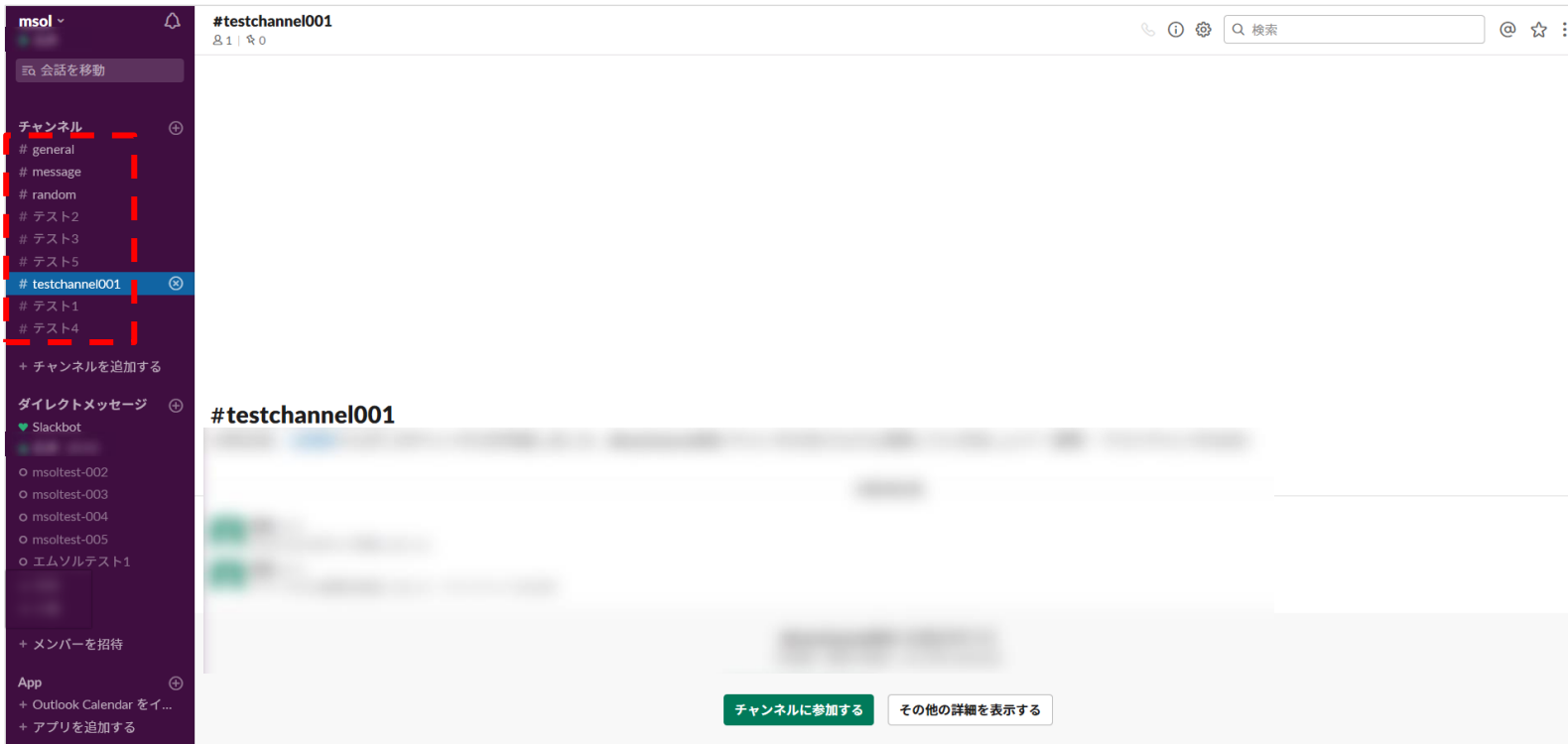
ユーザー名

保存

ユーザー名はプロフィールの一部ではなく、Slackが技術的な理由で必要としているものです。ユーザー名はほとんど他の人には見えませんが、必要に応じて変更することができます。ユーザー名はすべて小文字です。21字以下で、英字・数字・ピリオド・ハイフン・アンダースコアのみ入れることができます。1時間に2回以上ユーザー名を変更することはできませんので、名前の変更は慎重に！

# 1-5. 【Slack】チャンネル名の取得

## Slack画面



通知を送信したいチャンネルの名前を、レセプション管理画面の該当箇所に入力します。



## 2. ChatWork連携

## 2-1. 【Chatwork】 Chatwork API トークンの取得



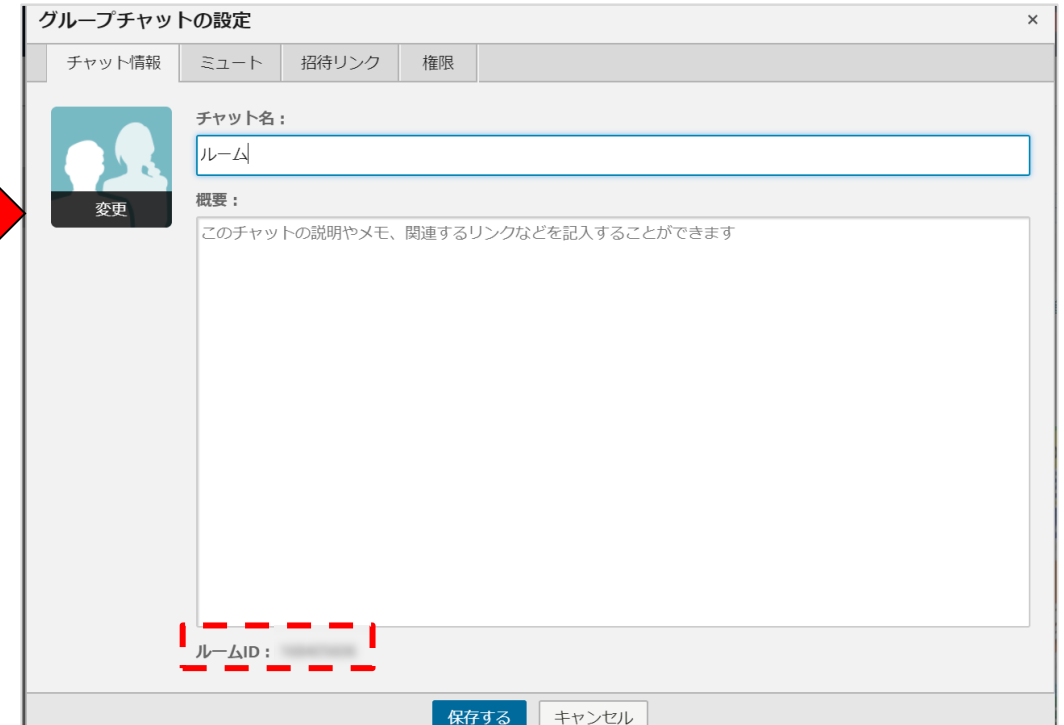
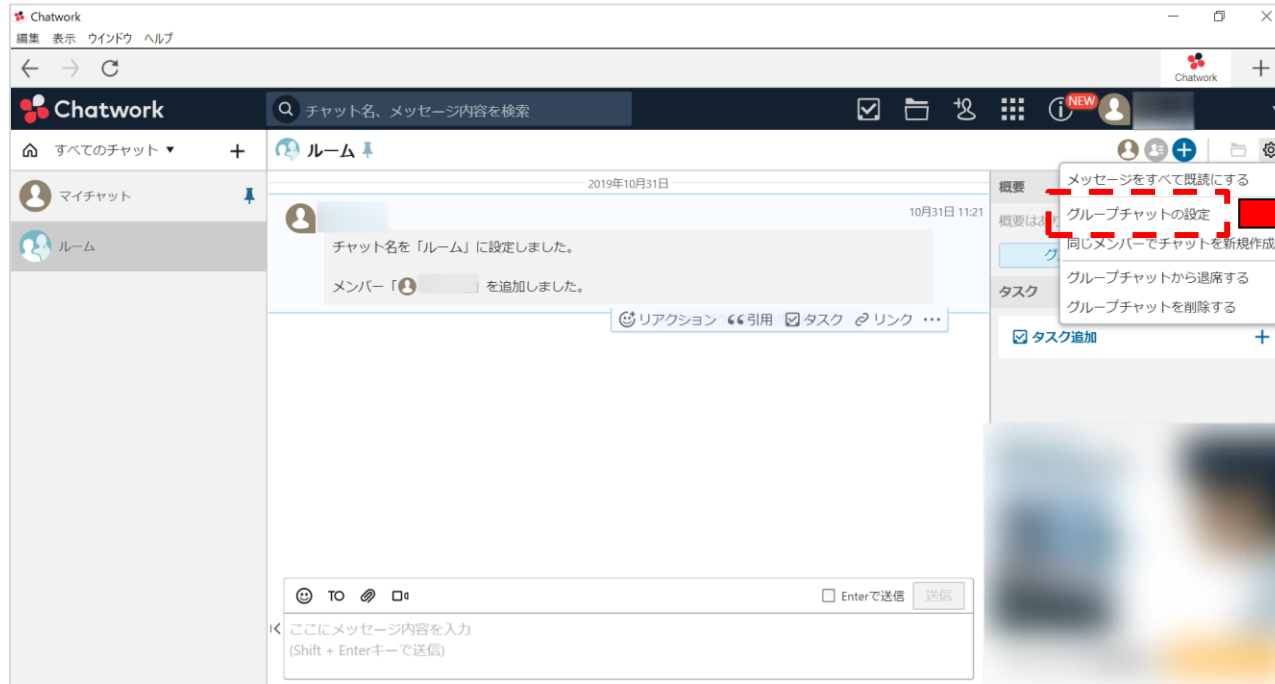
パスワードを入力し、表示をクリックする

サービス連携からAPI Tokenを  
選択



APIトークンが表示されるため、  
これをコピーし使用する

## 2-2. 【Chatwork】 ルームIDの取得(グループチャット)



通知を送信したいルームを開き、右上の歯車マークから「グループチャットの設定」を選択します。

グループチャットの設定画面の下部にルームIDがあるので、これを通知先追加ウィンドウのルームIDの項目に入力します。

## 2-3. 【Chatwork】 ルームIDの取得(マイチャット)

マイチャットのルームIDは下記のいずれかの方法で取得してください

①ブラウザ版のChatworkでURLの末尾の数字を確認 ※参考画像①

②Windows版アプリでマイチャットを表示した状態で  
右上のChatworkアイコンをクリックし、  
表示されたURL末尾の数字を確認 ※参考画像②

上記で取得したルームIDの値を  
通知先追加ウィンドウのルームIDの項目に入力します。

マイチャットについては下記Chatworkヘルプページに  
記載がありますので、ご利用の際にはご参照いただき  
注意事項などもご確認くださいませよう願いたします。

[マイチャットについて - Chatwork Help](#)



## **3. LINE WORKS**

## 3-1. 【LINE WORKS2.0】 Client IDとClient Secretの取得1

Developer Console (<https://developers.worksmobile.com/jp/console/openapi/main>)

Client ID, Client Secret, Service Account ID, 認証キー ( Bot ID以外) は、APIより取得します。  
情報取得には権限が必要です。管理者の方へお問合せ下さい。

LINE WORKS Developer Console

菅野哲人 | tekanno@msol ログアウト

従来の「API 1.0」による設定は、こちらから行なえます。 [API 1.0の認証設定に移動](#)

Console

API 2.0

Bot

組織連携

API Statistics

SSO

SAML Apps

IPT

API 1.0(提供終了予定)

M-SOLUTIONS株式会社 アプリリスト

API ガイド

message用

Reception dev

Smart at reception の開発用。

更新日 2022.08.03

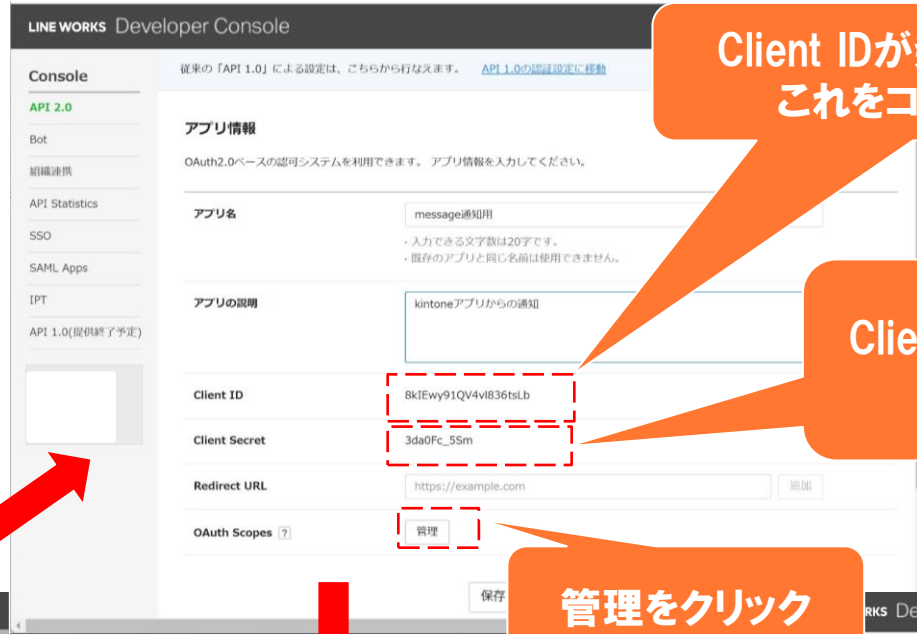
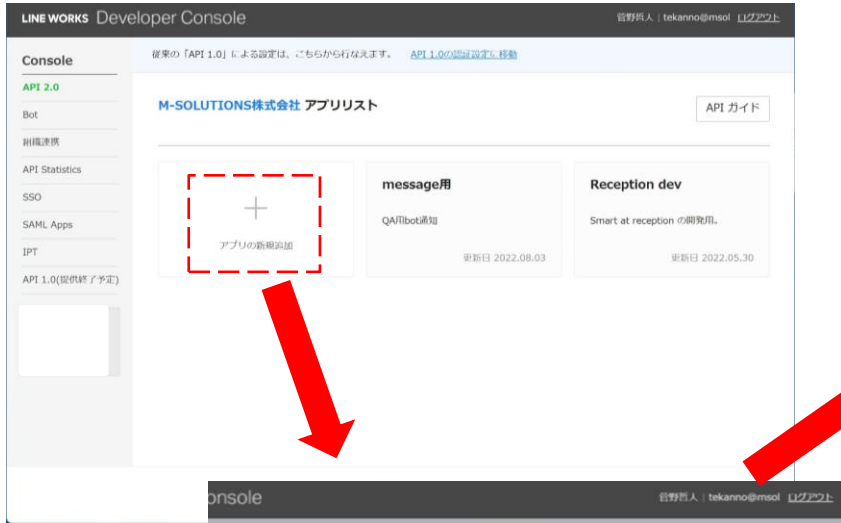
更新日 2022.05.30

API2.0を選択

© WORKS MOBILE Japan Corp.

# 3-1. 【LINE WORKS2.0】 Client IDとClient Secretの取得2

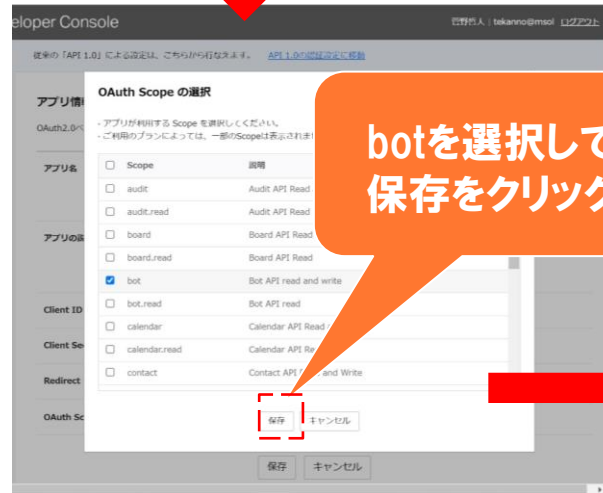
## アプリの新規追加を選択



管理をクリック



追加をクリック



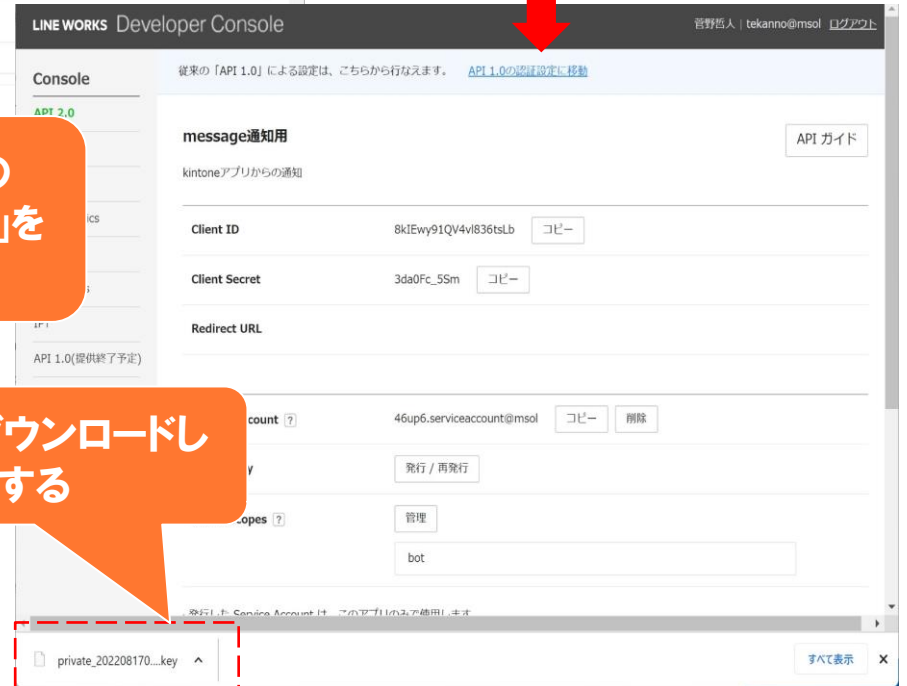
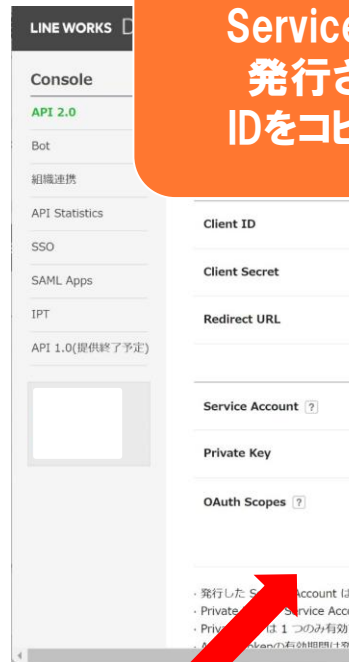
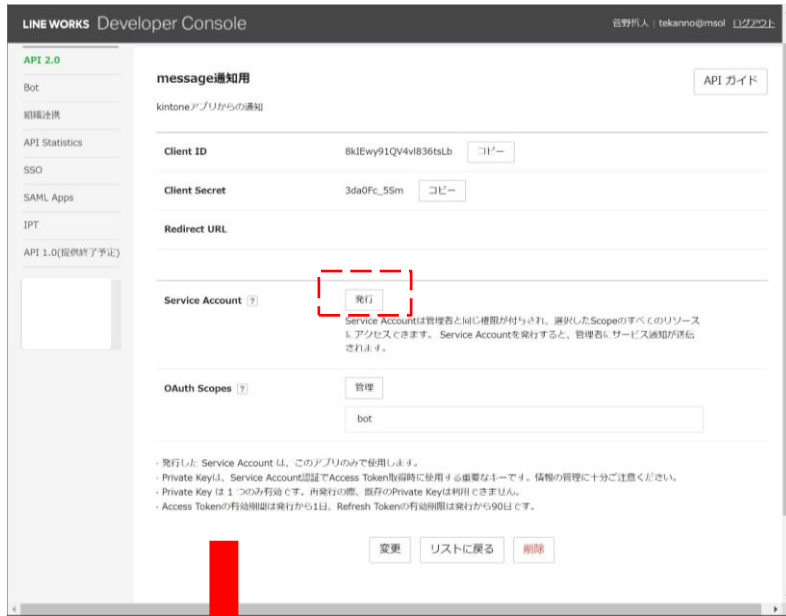
botを選択して保存をクリック



保存をクリック

# 3-2. 【LINE WORKS2.0】 Service Account IDと認証キーの取得

## Service Accountを発行する



Service Accountが  
発行されるため、  
IDをコピーし使用する

OKをクリックして発行する

Private Keyの  
「発行 / 再発行」を  
クリック

認証キーをダウンロードし  
使用する



OKをクリックして発行する



## 3-3. 【LINE WORKS】 Bot Noの取得1

Developer Console

Bot Noは、Botより取得します。

The screenshot displays the LINE WORKS Developer Console interface. On the left sidebar, the 'Bot' menu item is highlighted with a red dashed box, and an orange callout bubble labeled 'Botを選択' points to it. The main content area shows a search bar with a dropdown menu for 'Bot名' and a search button labeled '検索', which is also highlighted with a red dashed box and an orange callout bubble labeled '登録を選択'. Below the search bar, it indicates '登録されたBot 12個' and a '登録' button.



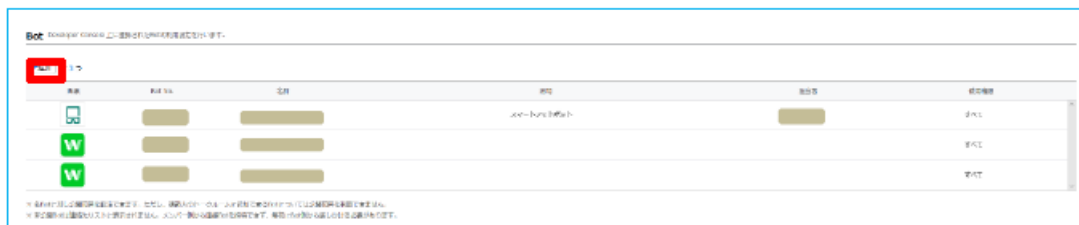
## 3-4. 【LINE WORKS】 Botの公開1

①

\* 登録したBotをメンバーに公開するには、管理者画面の **サービス>Bot** から設定を行ってください。  
\* メッセージの送受信はAPIで行います。 [Botガイド](#) をご覧ください。

① Botのリストの下に表示されている「サービス> Bot」のリンクをクリックします。

②



② 画面上部にある追加ボタンを押下します。



③ 追加したいBotにチェックを入れ、追加ボタンを押下します。

Smart at製品では、リストに表示されている「Bot No.」を使用します。

続いて、通知ができるように使用権限、公開設定を確認します。

## 3-4. 【LINE WORKS】 Botの公開2

Bot詳細

Bot 登録の練習

担当者  
〇〇△△

ポリシー

使用権限  
メンバー指定 0人

公開設定  
非公開

削除 閉じる 修正

④ LINE WORKSのBot 詳細画面を表示し、「修正」ボタンをクリックします。

Bot詳細

担当者

ポリシー

使用権限  
 すべて  
 メンバー指定

公開設定  
  
チェックすると、利用権限がある全メンバーの連絡先リストに表示されます。

キャンセル 保存

⑤ 使用権限、公開設定を有効にして、「保存」ボタンをクリックします。

メイン > サービス > Bot

Bot ? Bot追加

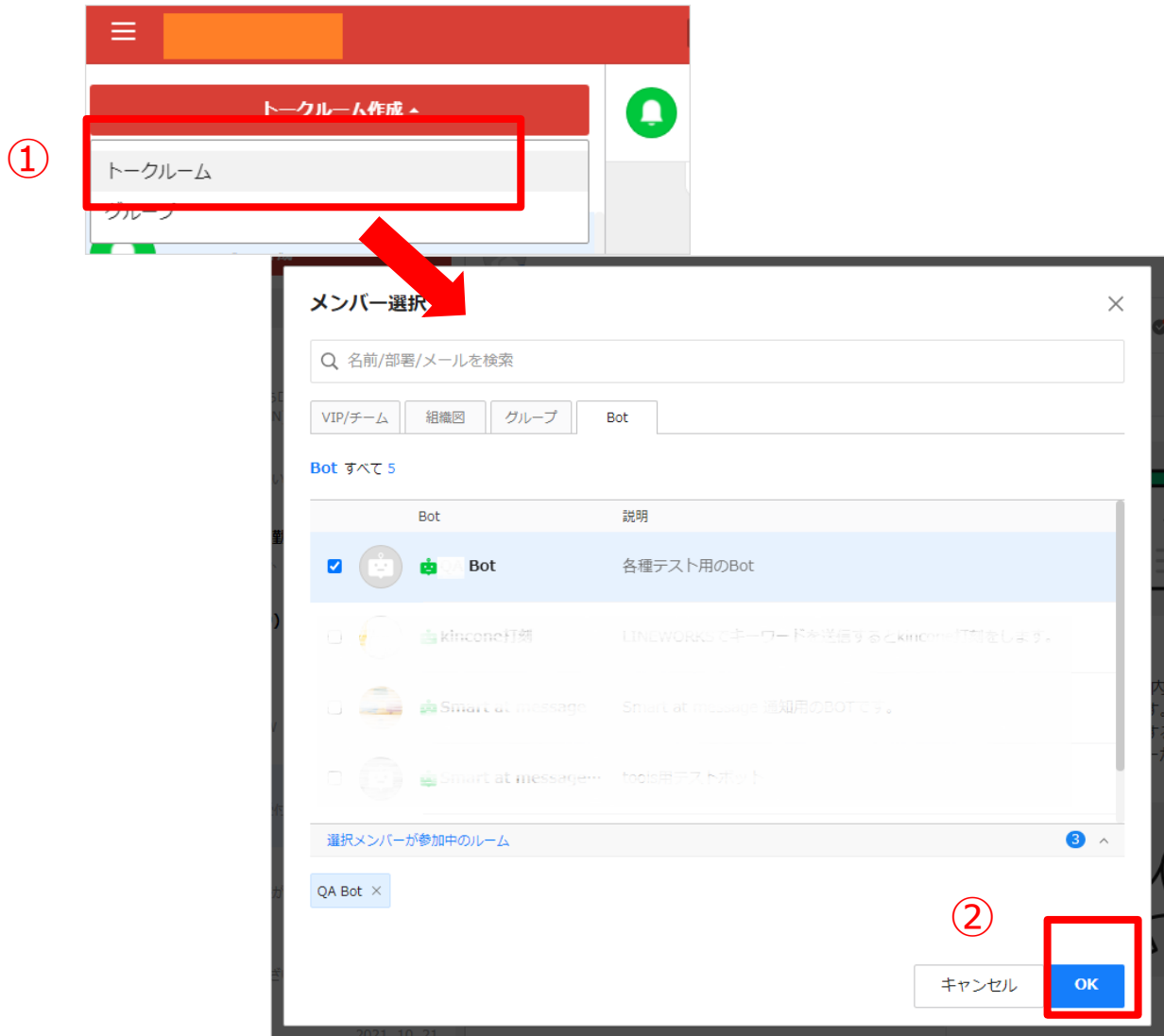
画像	Bot名	説明	Bot No.	使用権限	担当者
<input type="checkbox"/>	Bot 登録			すべて	

⑥ 使用権限が変更されていることが確認できます。

※公開設定を有効にすると、使用権限があるメンバーのアドレス帳に表示されます。

## 3-5. 【LINE WORKS】 トークルームにBotを追加

作成したBotをトークルームに追加して、トークルームに通知が飛ぶようにします。



① [トークルーム作成] - [トークルーム] をクリックします。

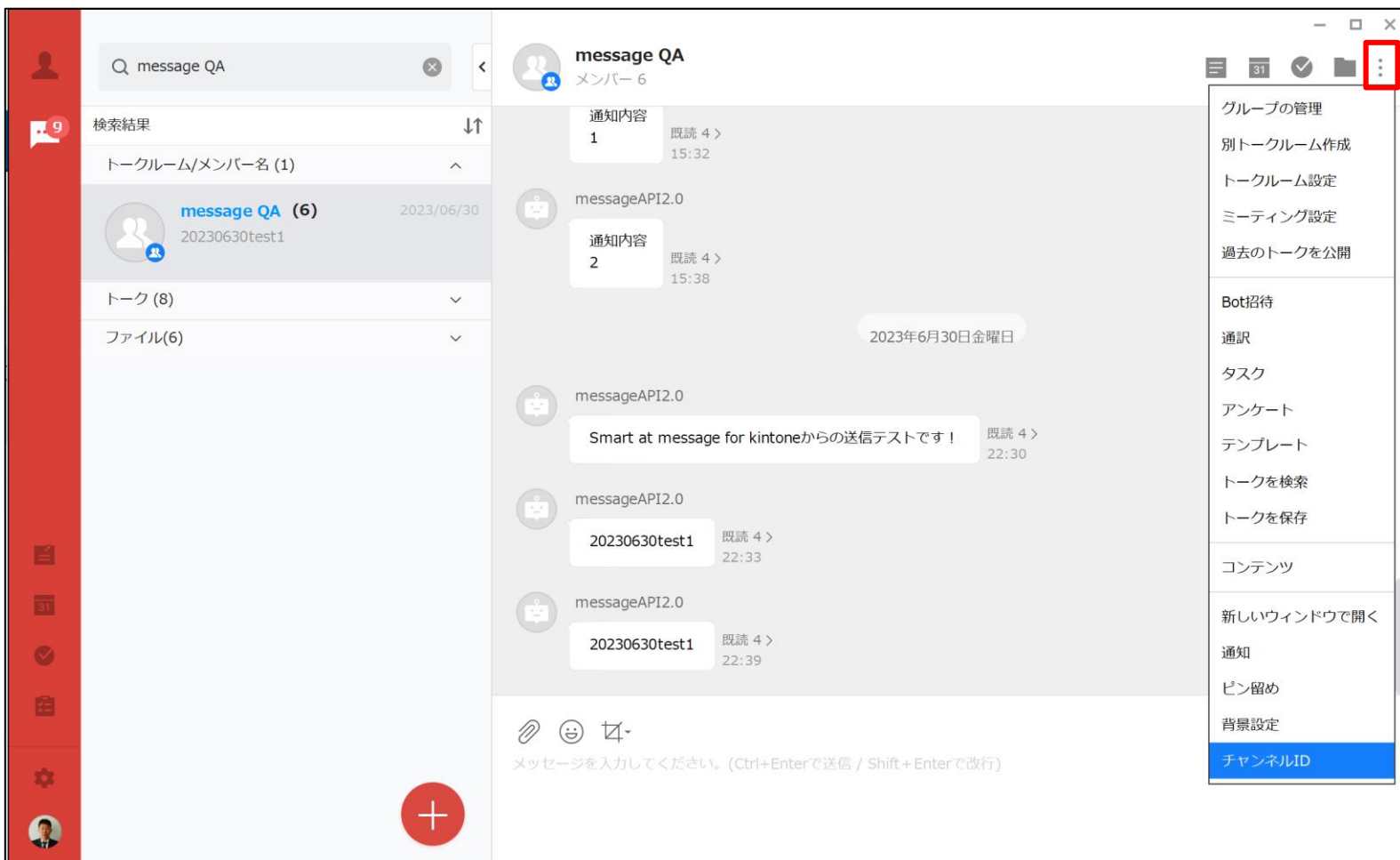
② メンバー選択画面で必要なメンバーを選択し、「Bot」タブから作成したBotを追加。「OK」ボタンをクリックします。

## 3-6. 【LINE WORKS】 アカウントID の取得

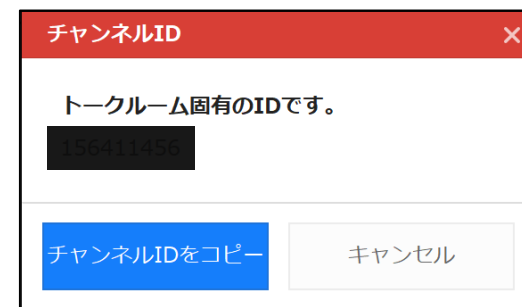
- ① アドレス帳を表示します。
- ② 送信したいユーザーを選択します。
- ③ 「アカウントID」が表示されます。



## 3-7. 【LINE WORKS】 ルームIDの確認



右上のメニューから「チャンネルID」を表示すると確認することができます。



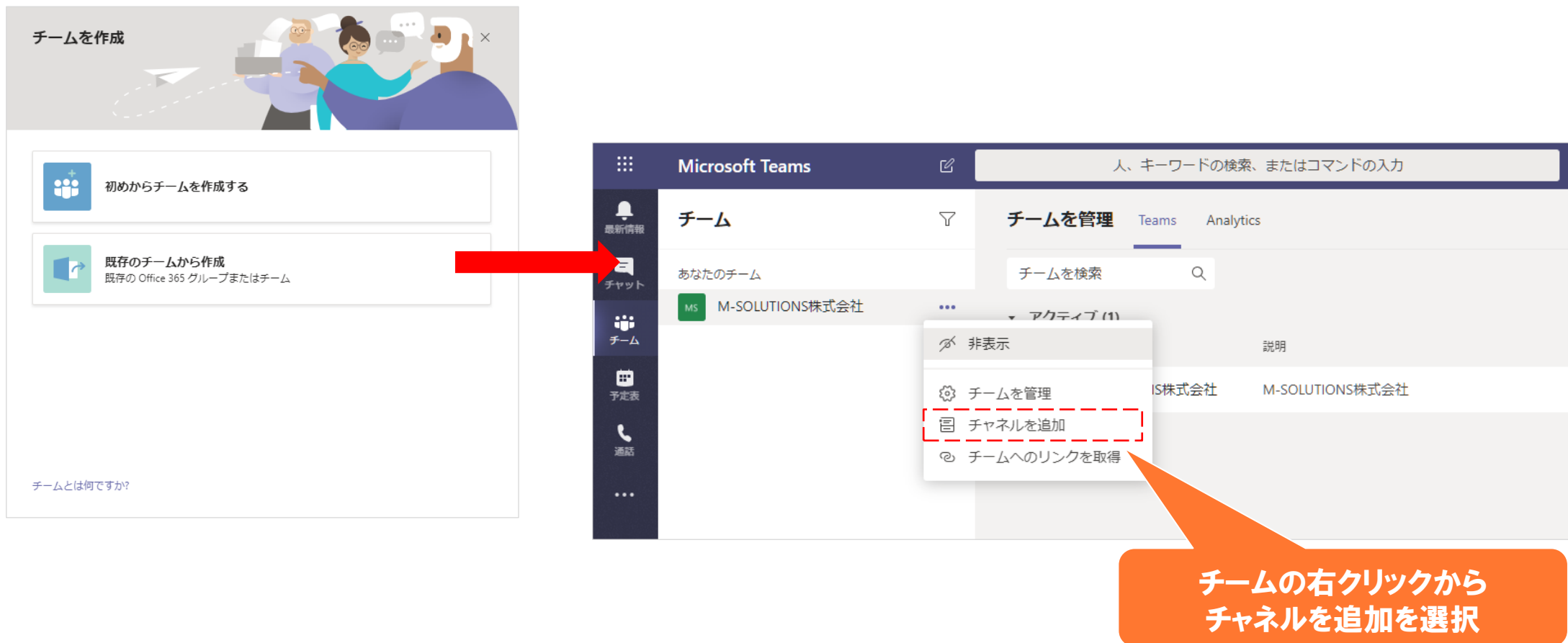
※トークルームに通知する際は、作成したBotがトークルームに追加されている必要があります

## 4. Teams連携



## 4-1. 【Teams連携】 チャンネルの設定1

Teamsでチームを作成し、チャンネルを追加します。  
チャンネル作成には権限が必要です。メニューが表示されない場合は、管理者の方へお問合せ下さい。



The image shows two screenshots from the Microsoft Teams interface. The left screenshot, titled 'チームを作成' (Create Team), shows two options: '初めからチームを作成する' (Create a new team) and '既存のチームから作成' (Create from an existing team). A red arrow points from the '既存のチームから作成' option to the right screenshot. The right screenshot shows the 'Microsoft Teams' interface with the 'チーム' (Team) menu open. The 'チャンネルを追加' (Add channel) option is highlighted with a red dashed box. An orange callout bubble points to this option with the text: 'チームの右クリックからチャンネルを追加を選択' (Select 'Add channel' from the right-click menu of the team).

チームを作成

初めからチームを作成する

既存のチームから作成  
既存の Office 365 グループまたはチーム

Microsoft Teams

人、キーワードの検索、またはコマンドの入力

チーム

チームを管理 Teams Analytics

あなたのチーム

チームを検索

MS M-SOLUTIONS株式会社

非表示

チームを管理

チャンネルを追加

チームへのリンクを取得

説明

IS株式会社 M-SOLUTIONS株式会社

チームとは何ですか?

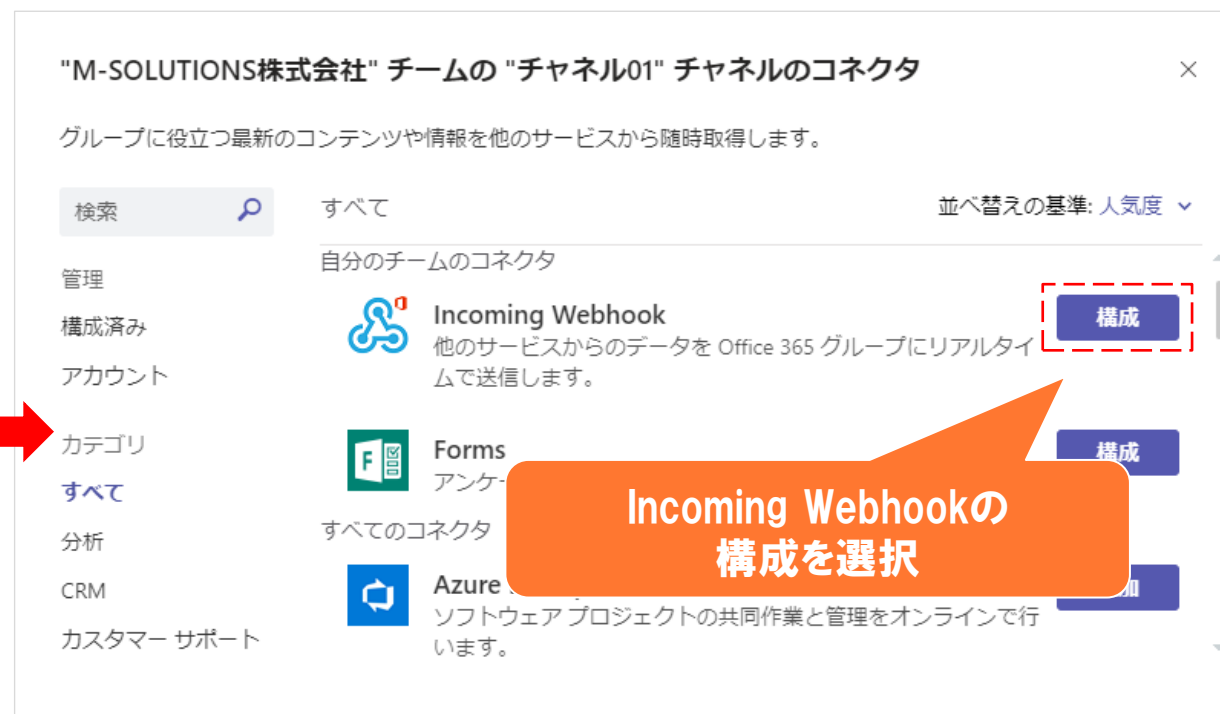
チームの右クリックから  
チャンネルを追加を選択

## 4-1. 【Teams連携】 チャンネルの設定2

チャンネルのコネクタを構成します。



チャンネルの右クリックから  
コネクタを選択



Incoming Webhookの  
構成を選択

## 4-1. 【Teams連携】 チャンネルの設定3

"M-SOLUTIONS株式会社" チームの "チャンネル01" チャンネルのコネクタ

着信 Web フック (Incoming Webhook) をセットアップするには、名前を入力して [作成] を選んでください。\*

Smart at message for kintone

この着信 Web フック (Incoming Webhook) からのメッセージに接続する画像をカスタマイズします。

イメージをアップロードします。

既定のイメージ

作成 キャンセル

注: ソフトウェア購入のための、着信 Web フック (Incoming Webhook) を使って Office 365 にデータを送信する方法の詳細については、こちらをご覧ください。 Office 365 コネクタ カードを使い始める。


任意の IncomingWebhook 接続名を入力

作成を選択



"M-SOLUTIONS株式会社" チームの "チャンネル01" チャンネルのコネクタ

イメージをアップロードします。



以下の URL をコピーしてクリップボードに保存してから、[保存] を選んでください。この URL は、グループへのデータ送信元となるサービスの画面で必要になります。

完了 削除

注: ソフトウェア購入のための、着信 Web フック (Incoming Webhook) を使って Office 365 にデータを送信する方法の詳細については、こちらをご覧ください。 Office 365 コネクタ カードを使い始める。

完了を選択

## 4-2. 【Teams連携】 Webhook URLの取得1

チャンネルのコネクタの管理画面を表示します。



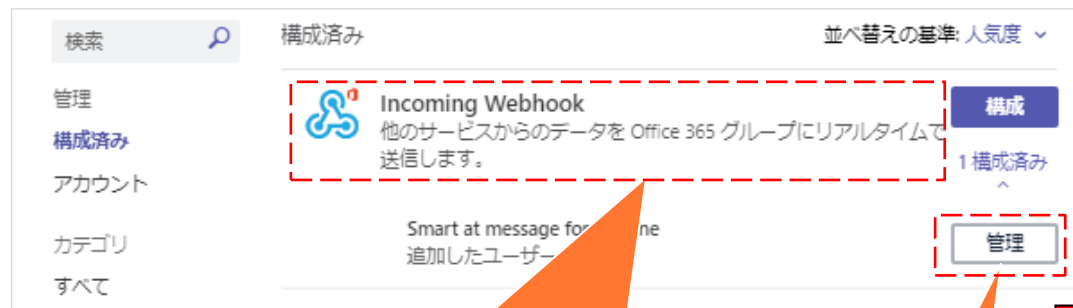
チャンネルの右クリックから  
コネクタを選択



構成済みを選択

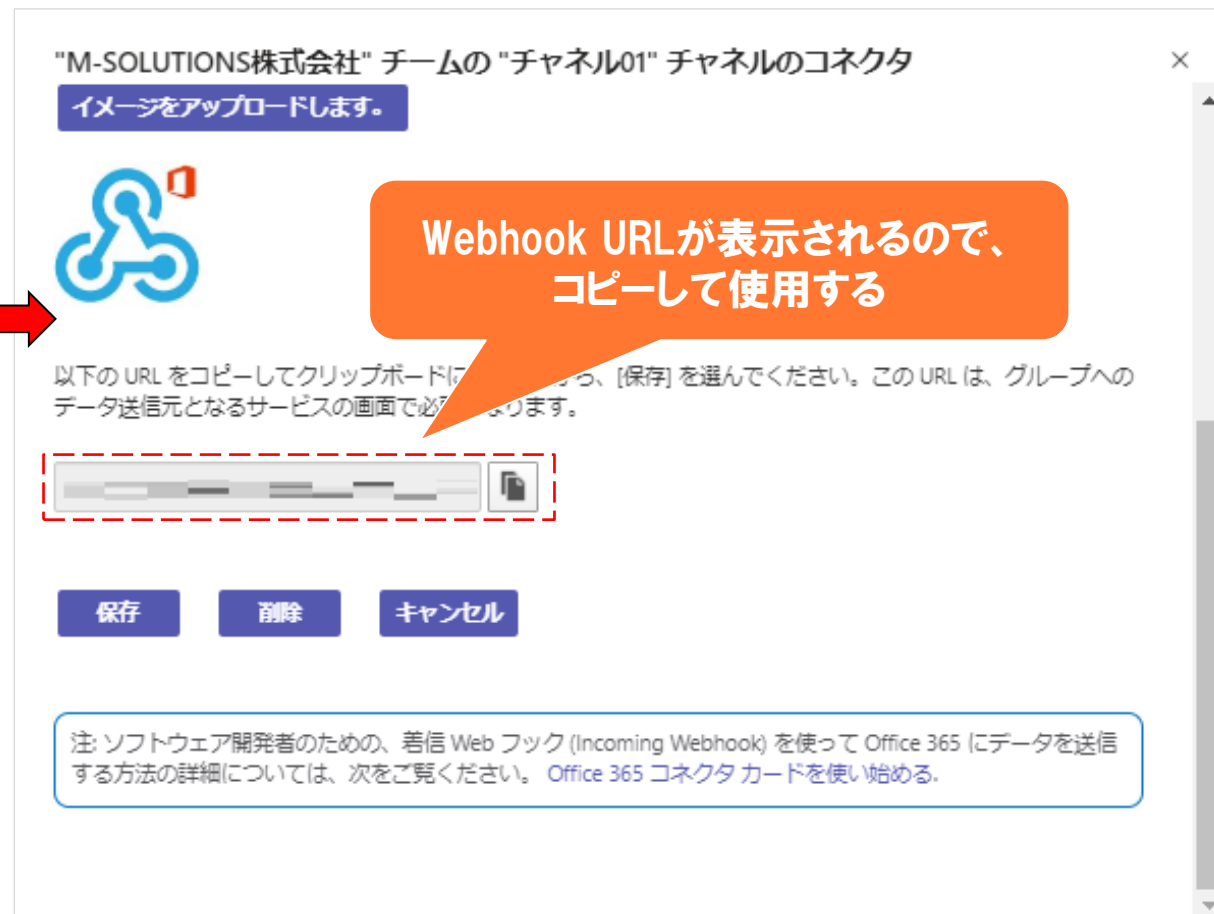
## 4-2. 【Teams連携】 Webhook URLの取得2

チャンネルのコネクタ管理画面の下方に  
Webhook URLが表示されます。



Incoming Webhookを選択すると  
管理ボタンが表示される

管理を選択



Webhook URLが表示されるので、  
コピーして使用する

以下の URL をコピーしてクリップボードに貼り付け、[保存]を選んでください。この URL は、グループへのデータ送信元となるサービスの画面で必ず表示されます。

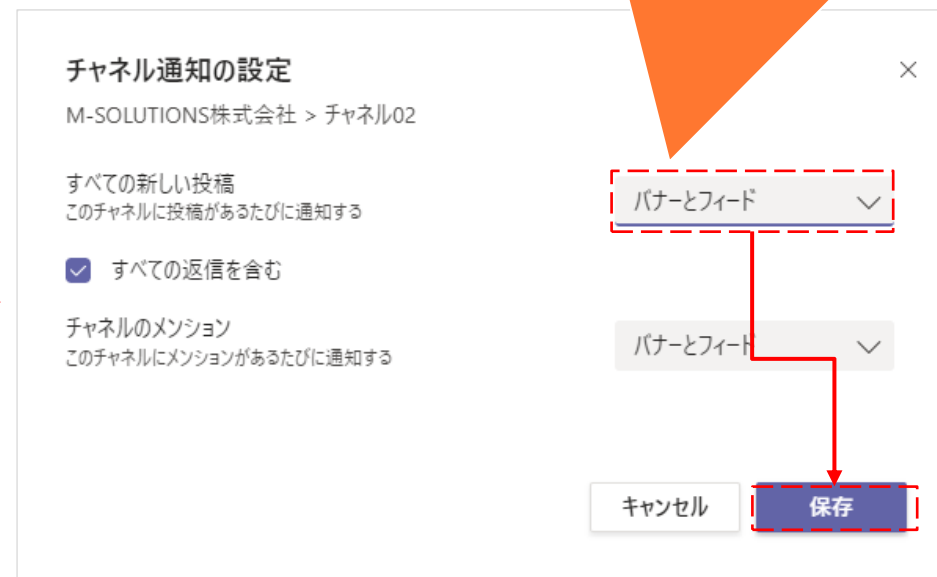
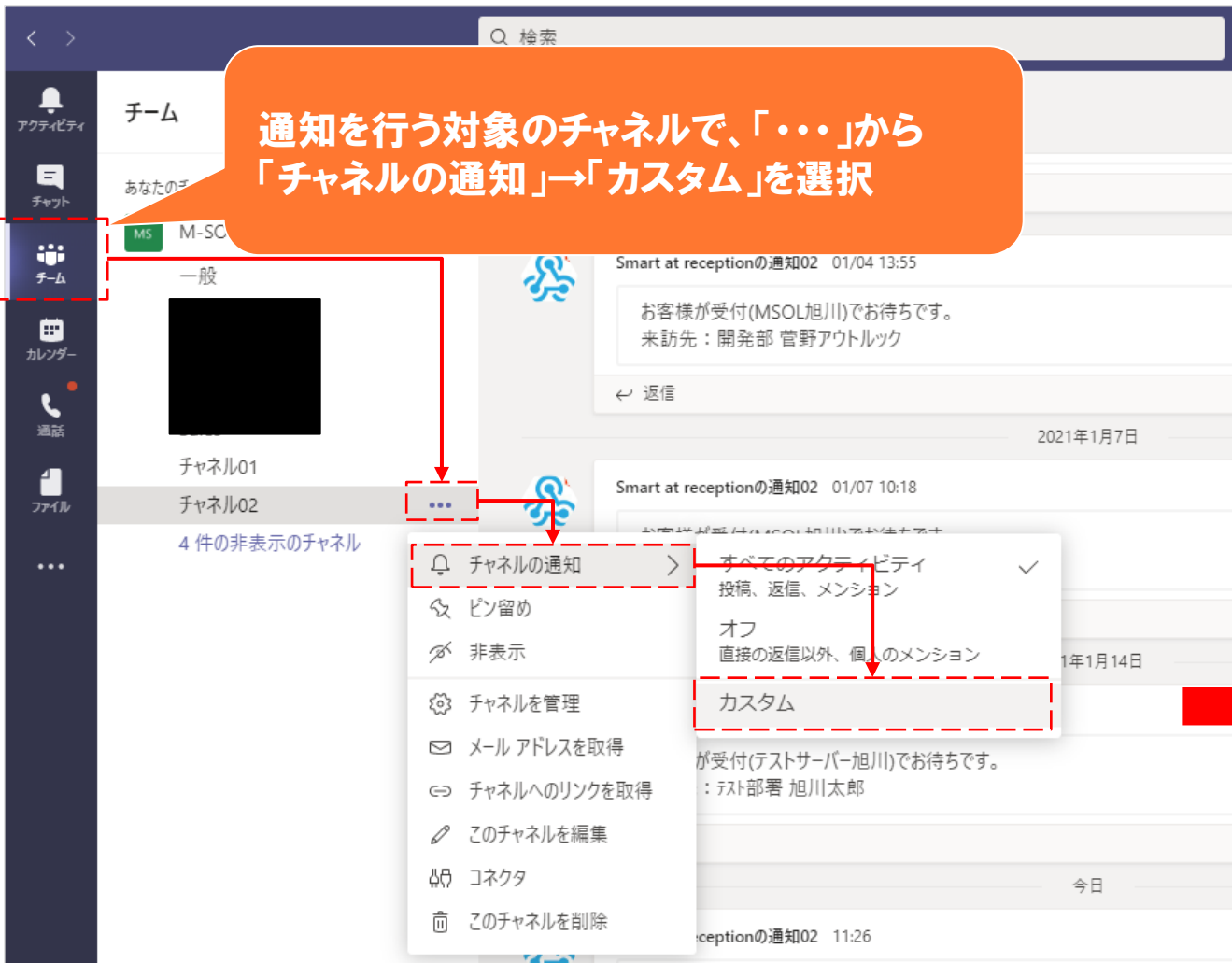
注: ソフトウェア開発者のための、着信 Web フック (Incoming Webhook) を使って Office 365 にデータを送信する方法の詳細については、次をご覧ください。Office 365 コネクタカードを使い始める。

## 4-3. 【Teams連携】 通知をお知らせする設定 1

Teamsのチャンネルへ通知を行った場合、メッセージを受信してもチャンネルを見に行かなければ、受信に気づくことができません。Teamsの設定により、メッセージを受信した時にお知らせする機能があります。各個人でTeamsに設定していただく必要がありますが、来訪通知の見落としを防ぐためにも、設定をお願いします。

通知を行う対象のチャンネルで、「…」から「チャンネルの通知」→「カスタム」を選択

すべての新しい投稿で「バナーとフィード」を選択し「保存」を選択



## 4-3. 【Teams連携】 通知をお知らせする設定 2

The screenshot shows the Microsoft Teams interface. In the top right corner, the user's profile icon is highlighted with a red dashed box. A red arrow points from this icon to a dropdown menu. In the dropdown menu, the option 'アカウントの管理' (Manage account) is also highlighted with a red dashed box. An orange callout box with white text is positioned over the main content area, pointing towards the user profile icon.

新しい Teams を試す  検索 M-SOLUTIONS株式会社

MS チャンネル02 投稿 ファイル Wiki

山田 有美 (EmSoluシ...)

- 連絡可能
- SBテクノロジー株式会社
- M-SOLUTIONS株式会社 (ゲスト)
- 保存済み
- アカウントの管理**
- + 個人用アカウントの追加
- サインアウト

Teamsのメイン画面の右上にある自身のアイコンから「アカウントの管理」を選択

投稿を開始する

## 4-3. 【Teams連携】 通知をお知らせする設定3



設定のメニューでは「通知」を選択。  
通知された時にサウンドで知らせる場合は  
「着信通話および通知のサウンドを再生」をONにする。  
チームとチャンネルで「カスタム」を選択。



チームのメンション、すべての新しい投稿、  
チャンネルのメンションをすべて「バナーと  
フィード」に設定。



## 4-4. 【Teams連携】 通知のイメージ

Teamsアプリのアクティビティのアイコンに通知

Windows10のTeamsのデスクトップアプリのイメージ

画面下のTeamsアイコンに通知

画面右下に通知があったことをメッセージで通知

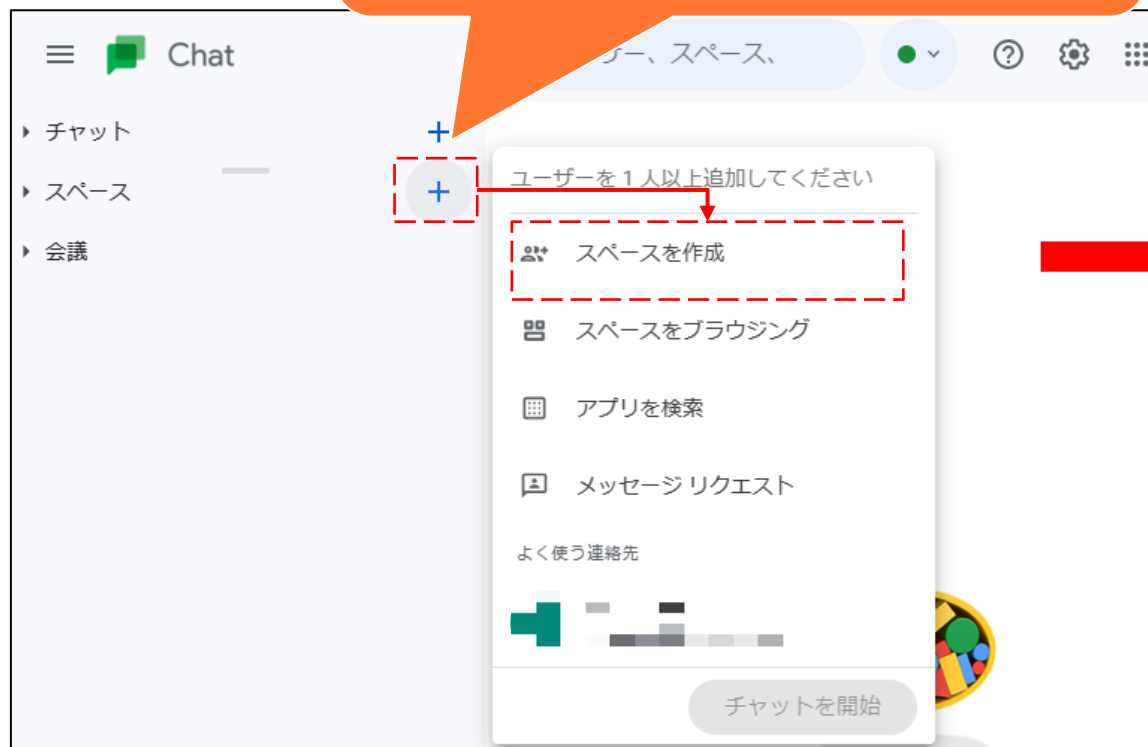
Smart at receptionの通知02 さんが新しいメッセージを投稿しました  
M-SOLUTIONS株式会社 / チャネル02

## 5. Google Chat連携

## 5-1. 【Google Chat連携】スペースの作成

Google Chatでスペースを作成し、Webhookを設定します。  
Webhookの設定には有料のGoogle Workspaceアカウントが必要になります。

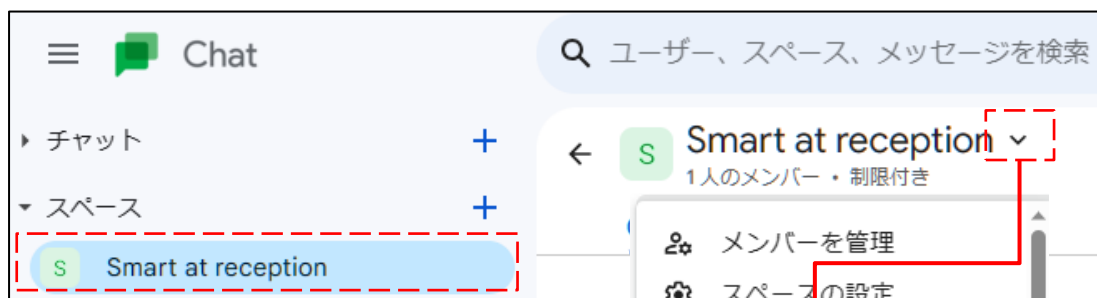
GoogleChatを起動して、スペースの「+」をクリックして、「スペースの作成」を選択



任意のスペース名を入力し、作成を選択



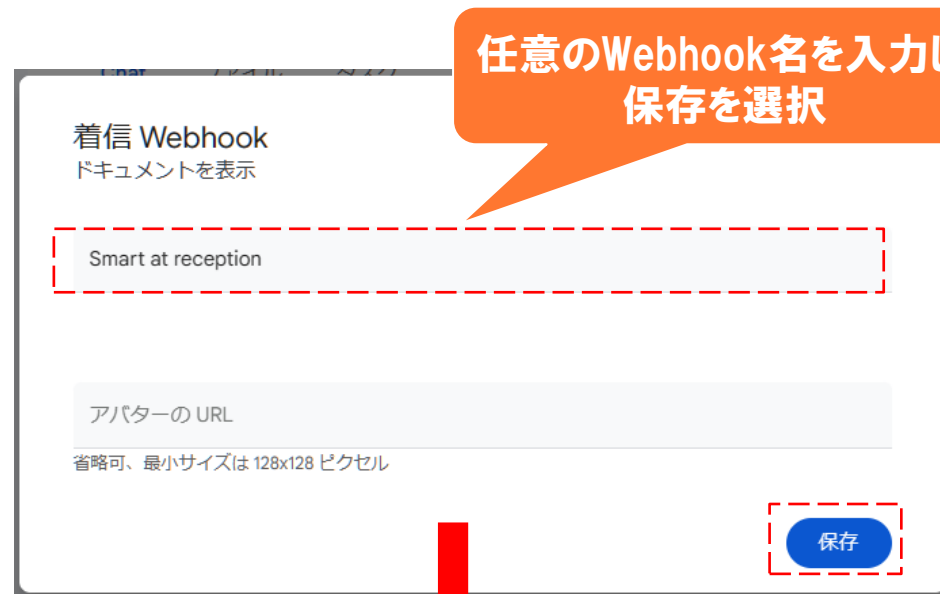
## 5-2. 【Google Chat連携】 Webhookの設定



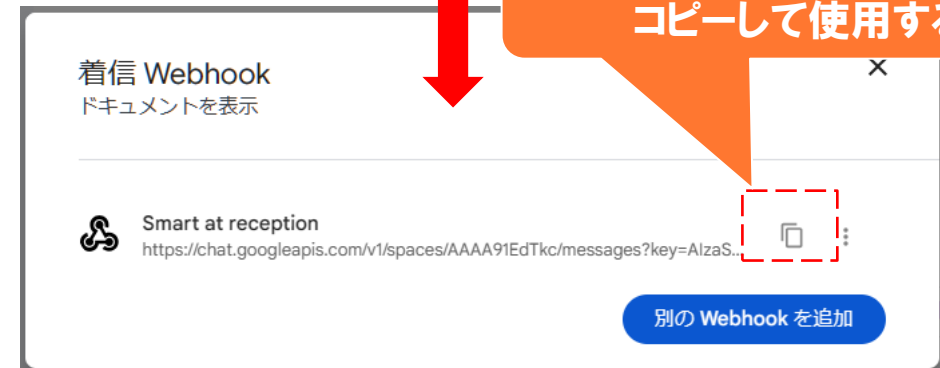
サイドバーでスペースを選択し、  
スペース名横の「▼」をクリックして、「アプリと統合」を選択



「Webhookを管理」を選択



任意のWebhook名を入力し、  
保存を選択



生成されたWebhook URL を  
コピーして使用する